

非常用電源の様々なカタチ

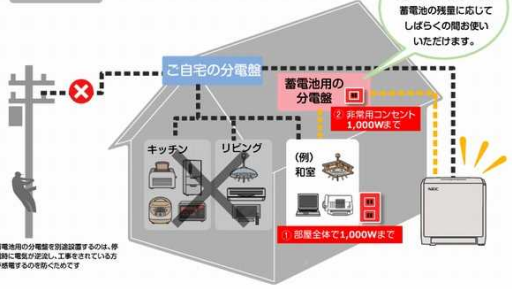
広がる蓄電池の重要性

大京は2014年9月、家庭用蓄電池を発売した。同社の戸建住宅ブランド「アリオンテラス」を東京都内で分譲する場合、NECが製造した家庭用標準容量蓄電池を導入するメリットは2つある。第一に非常時の電源確保だ。系統からの電力が遮断された場合、蓄電池用の分電盤(2回路)に接続された照明器具や家電を利用できる(図1)。利用できる電力は1000Wだ。

もう一つのメリットは、日常的な電気料金の削減に役立つこと、日中の電気代を削減できる。

◆戸建住宅に蓄電池を標準装備、大京が東京で開始

停電時



*1) 電力確保について、大京はまずマンションから対応を進めてきた。2011年10月着工物件(10階以上のもの)から順次、出力10kWの太陽光発電システムと蓄電池を接続し、停電時でもエレベーターを通常速度で運行できるようにした。

図1 停電時に電力を確保できる / 出典:大京

電力新聞

9月19日 金曜日

発行元
(株)フロンティアO's
東京都中央区八丁堀3-11-8
ニチト八丁堀ビル8F
TEL:03-5540-4374

ホームページ検索

フロンティアオーズ

<http://www.frontier-os.co.jp/>

◆水で発電「マグボックス」 非常時のケータイ充電30回



図1 マグボックスの外観。

古河電池と凸版印刷は2014年8月、水注入型機能付き電池として「非常用Mg空気電池」を開発し、「マグボックス」を発売した。2014年12月の販売開始を発表した(図1)。当初は地方自治体向けに販売する。

マグボックスは蓄電池ではなく、使い切りの一次電池だ。マグボックスを使うためには、水や海水を入れたペットボトル(2L)1本を用意する。マグボックスの上蓋を開けると、水口が4つ見えていく。順に注水して

注水量は合計2Lだが、USB端子が2つ備わっており、スマートフォンを最大30回充電可能な電気を生み出す。「容量」は300Wh、5V出力で1.2Aの電流を取り出すことができる。ほぼ全てのスマートフォンやタブレット端末に対応する。

古河電池は福島県いわき市に事業所を置き、地震に際しては、日本最大級の通信機器が使える状況にした。そこで、「あらかじめ充電しておかないと、いざというときに利用できない」という課題を指摘した。



創業36年を数えるサバイバルグッズの本総代理店、株式会社セイエンタプライズ(代表取締役:平井雅也)は、運営する防災のセレクトショップ「セイシヨブ」にて、ソーラーパネル2枚と蓄電池をセットにした商品「PowerFilm ロールアップセット」を発売すると発表した。セットのソーラーパネルは晴天下で約6時間、蓄電池で満充電でき、アウトドア・レジャーから災害時に至る場面で本格的な太陽光発電の利用が可能だ。

主に、携帯向け蓄電池として利用されるよ!



◆高品質な米国製 サバイバル向け製品

北関東の群発地震は「巨大地震の前兆」と不安がる声

◆ 続く余震に注意を。

16日に発生した茨城県南部の震度5弱の地震は、徐々に関東住民への地震への恐怖感を煽るのを冷やした。然しこれはほんの前触れであり、本当の恐ろしい地震はその後来るのではないかと心配する声もある。

今回の地震について、気象庁地震津波監視課の長谷川洋平課長は、「揺れの強かった地域では、今後しばらくの間は震度4程度の揺れを伴う余震が発生するおそれがあり、落石や崖崩れなど起こりやすくなっている可能性がある」と述べた。



16日の地震による各地の震度 日本気象協会「tenki.jp」より引用

最近の地震について

最近発生している地震は以下である。

8月29日	午後6時19分	茨城県北部	震度4
9月3日	午後4時24分	栃木県北部	震度5弱
9月4日	午前5時34分	栃木県北部	震度4
9月16日	午後12時28分	茨城県南部	震度5弱

◆ 3日にも震度5弱

実は3日午後4時、同じ地域で震度5弱の地震が発生している。これ(前触れ)ではないか(心配)と声もあふれる。もちろんあくまで「噂」や「心配」レベルではあるが、このような群発地震後に巨大地震が発生すると推察する専門家も注意が必要なのだから、要

「現場の声」蓄電池が使用されるシーンとは @医療編

『システム障害対策、電源確保に。』

発電機ではカバーできない、極短い停電による、電圧変動、電源トラブルの発生や、サーバーのシステム障害を防ぎ、復旧作業にかかる時間やコストなどを軽減します。

使用例 * サーバー/パソコン/薬品用冷蔵庫/保育器など

『燃料の管理、メンテナンスの負担を減らしたい。』

発電機の設置や、燃料の管理、メンテナンスなどに費用と手間がかかるため、設置工事・燃料の必要性がない蓄電池に関心が高まっています。また、屋内への設置ができ、安全性も◎。

『大切なデータを守りたい。』

「バックアップの取得」をしても、常時リアルタイムでの更新でない限り、大切なデータを失う可能性があります。オンラインUPS(無停電装置)としての機能も果たし、電気を止めることなく供給し続けることができます。

『災害に強いライフライン設備の構築のために。』

自家発電機の設備だけでは、バックアップとしては不足しているとも言われており、万一「燃料が確保できない」、「正常に作動しない」といった不測の事態にも対応できるよう、発電機と蓄電池の長所・短所それぞれを補い合う電源として導入するケースが増えています。

◆ 自然災害による停電から安全を確保！蓄電池・ENEBOX(エネボックス)

災害時の急な停電・電圧変動などによる電源トラブルを回避するとともに節電としても役立てられるENEBOX。さまざまな環境を強力にサポートします。



活用シーン例

- 医療機関
- 企業
- 老人ホーム
- 研究所
- 自治体
- 一般家庭

詳しくはHPやカタログをご覧ください。

新製品のご案内



太陽光パネルからの充電のみで、完全電気代ゼロのシステム！

「ENEBOX-ZERO」発売中！

※詳細は

フロンティアオース ENEBOX ZERO

検索

